

現 状

「東京都がん対策推進計画（第二次改定）」精密検査受診率 目標値：90%  
 → 胃がん（内視鏡除く）・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんの全てにおいて**未達成**

がん検診精密検査受診率（平成29年度・東京都）

胃がん		肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
X線	内視鏡				
73.1%	93.9%	71.5%	56.1%	67.6%	85.0%

（出典）令和元年度 東京都精度管理評価事業

課 題

- 1 精密検査の受診動向を把握できない対象者（精検未把握率）が多い
- 2 未把握者は、精検受診者が精検未受診者に分かれるが、**受診動向が把握できないため、区市町村による未受診者に対する受診勧奨が不十分**
- 3 精検未把握率が区市町村間でバラつきが大きい
- 4 要精密検査者に対する**精密検査受診の重要性の啓発が不十分**

乳がん検診（平成29年度）

	①精検受診率	②精検未把握率	③精検未受診率	①+②+③
東京都	85.0%	<b>11.7%</b>	3.3%	100%
A自治体	95.8%	<b>2.9%</b>	1.3%	100%
B自治体	42.6%	<b>57.4%</b>	0%	100%

<未把握率が高い原因>

- 区市町村から精検機関に受診結果を照会するも未回答が多い  
 ⇒報告書作成の煩雑さにより、報告書の回収率が悪い  
 ⇒個人情報保護の観点から回答を拒む医療機関がある

- 要精検者が居住自治体以外の精検医療機関を受診することが多く、  
 区市町村による受診結果の把握が困難

取組の方向性

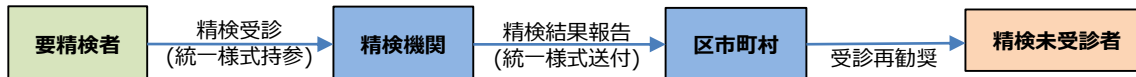
- ★**精検受診者を正確に把握し、未把握を解消。未受診者には受診勧奨を効果的に行う**
- ★精検結果報告書を区市町村に返送する必要性について**医療機関に周知**
- ★都内一律に精検受診結果が区市町村に報告される仕組みを構築
- ★要精検者に対する**精密検査受診の重要性について啓発を強化**



精密検査受診率  
90%達成

具体的な取組

- 1 有識者・実務者による検討会  
 東京都、東京都医師会、国立がん研究センター、精検実施機関、区市町村により構成  
 《検討事項》  
 ①精密検査依頼書兼結果報告書（東京都統一様式）の作成  
 都内どこの医療機関で精密検査を受けても区市町村へ結果報告されるための統一様式を作成  
 【H30】**胃がん・大腸がん**検診用様式を作成 【R1】**肺がん**検診用様式を作成  
 【R2】**乳がん**検診用様式を作成  
 ②区市町村に結果が返送される仕組み
- 2 医療機関に対する周知及び協力依頼の通知を发出  
 都内医療機関に次の点を周知等するための通知を发出  
 ・精密検査結果を区市町村に報告する必要性  
 ・精密検査結果返送は個人情報保護法の例外であること  
 ・区市町村の精密検査結果把握への協力を依頼
- 4 要精検者に対する精検受診の重要な啓発【R2・新規】  
 要精検者が精検受診の重要性を理解できるよう  
 啓発用リーフレットを作成



# ●●●区乳がん検診 精密検査依頼書 兼 結果報告書

## 乳がん精密検査依頼書

年 月 日

医療機関長 様  
御担当医 様

返送先
〒
住所:
TEL:

「個人識別情報」は、記入内容にあわせて項目名を変更してください。(例:「住所」)

下記の方は●●●区乳がん検診の結果、要精密検査となりましたので、御高診の上、宜しく御指導をお願い申し上げます。

氏名	年 月 日	検診日	年 月 日
生年月日	年 月 日	検診機関名	
個人識別情報	住所・自治体独自の住民番号・受診者番号・医療機関コード等、必要な項目の記入欄として使用		

## 精密検査結果(貴院記入用) 精密検査結果について御記入の上、御返送くださいますようお願いいたします。

※ 精密検査結果の区市町村及び区市町村から委託を受けた検診機関への提供は、個人情報保護法の例外事項として認められています(「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」(個人情報保護委員会・厚生労働省)において個人情報保護法第23条第1項第3号の第三者提供の例外とされています。)

※ 御記入いただいた内容は、区市町村が「地域保健・健康増進事業報告」(厚生労働省)に計上し、国及び都の地域保健施策のための基礎資料となります。

精密検査 実施した <u>全ての検査</u> を チェックしてください	<input type="checkbox"/> 乳房エックス線検査(マンモグラフィ) <input type="checkbox"/> 乳房超音波検査 <input type="checkbox"/> 細胞診 ( <input type="checkbox"/> 穿刺吸引細胞診 <input type="checkbox"/> 乳頭分泌液細胞診 ) <input type="checkbox"/> 組織診 ( <input type="checkbox"/> 針生検 <input type="checkbox"/> 吸引式組織生検 <input type="checkbox"/> 外科的生検 ) <input type="checkbox"/> 上記以外 ( 検査法: )
診断区分 判明した <u>全ての病変</u> を チェックしてください	<input type="checkbox"/> 異常なし・乳房以外の臓器の疾患 <input type="checkbox"/> 乳がん ( <input type="checkbox"/> 0期がん <input type="checkbox"/> I期がん <input type="checkbox"/> II期以上のがん <input type="checkbox"/> 病期不明 ) <input type="checkbox"/> 乳がんの疑いのある者又は未確定 <input type="checkbox"/> 乳がん以外の乳房の疾患 (乳腺症、線維腺腫、嚢胞、葉状腫瘍、転移性の乳がん等)
精密検査時の 偶発症 <u>該当する場合のみ</u> チェックしてください	※ 入院治療を要するものとする(例: 穿刺吸引細胞診や針生検による感染症、大量出血等)。 <input type="checkbox"/> あり ⇒ 内容 ( )

精密検査実施日 年 月 日	精密検査実施医療機関名 TEL	精密検査担当医師名
------------------	--------------------	-----------

# がん検診の結果が「要精密検査」の方は必ず精密検査を受けましょう!

がん検診では、精密検査が必要かどうかを調べます。がん検診で精密検査が必要（要精密検査）と判定された場合、「がんの疑いがある」可能性があります。**より詳しい検査を行い、本当にがんがあるかを調べる必要があります**。精密検査では、がん以外の病気を見つけられることもあります。

早期の胃がんはほとんど自覚症状がありませんが、検診での発見で早期に治療をすれば、**90%以上が助かります\***。また、早期発見により、**身体的にも経済的にも負担の少ない治療**で済み、早めに日常生活に戻ることができます。

\*ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合です。  
出典：全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率（2009～2011年診断例）

## 検診の流れ

### 1. がん検診

- ・問診
- ・胃部X線検査  
または  
胃内視鏡検査

### 2. 精密検査

検診の結果、「**要精密検査**」と判定されたら、精密検査を受診

### 3. 「がん」か「がんではない」か判明

胃がん  
胃がん以外の病気

治療

異常なし

2年1回  
定期的ながん検診\*

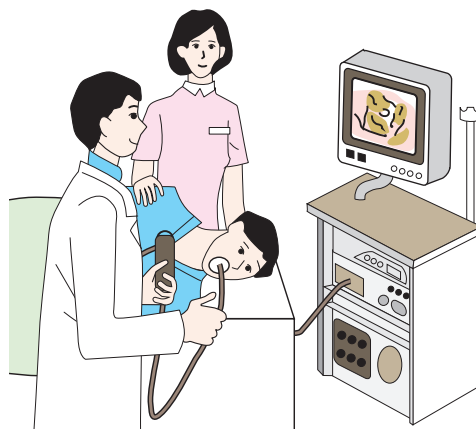
\*胃部X線検査は、1年に1回の場合もあります

## 主な精密検査の内容

### 胃内視鏡検査

喉の麻酔を行った後、口（または鼻）から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察します。疑わしい部分は、少量の胃の組織を採取し、がん細胞があるかなどについて顕微鏡で調べます。

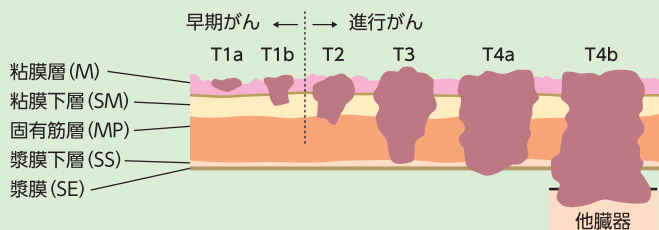
※胃がん検診で胃内視鏡検査を受けた場合でも、より詳しく調べるために再検査が必要になることがあります。



## 胃がんとは

胃がんは、胃の壁の内側の表面を覆う粘膜にできるがんです。がんが進行すると、粘膜下層から壁の内部に深く進み、リンパ節や近くにある大腸や膵臓にも広がったり、肝臓や肺に転移をきたします。

また、ヘリコバクターピロリ菌に持続感染すると、胃炎が持続し、胃がんに進展しやすくなります。



## お問合せ先

# 精密検査の受け方

1

## 精密検査を受ける医療機関を選びましょう

医療機関名	所在地	電話番号

上記の医療機関以外でも、胃がん検診の精密検査は**消化器内科・内視鏡内科・胃腸内科のある医療機関**で受けることができます。ただし、すべての消化器内科・内視鏡内科・胃腸内科のある医療機関で実施しているわけではありませんので、ご注意ください。

2

## 医療機関に精密検査の予約をしましょう

精密検査を受ける医療機関を選んだら、医療機関へ連絡して受診日を予約してください。

3

## 医療機関で精密検査を受けましょう

### 精密検査当日の持ち物

- ・健康保険証
- ・胃がん検診結果通知書
- ・胃がん検診精密検査依頼書及び結果報告書
- ・返信用封筒

### 精密検査の費用

精密検査は通常の保険診療として、健康保険を適用した際の自己負担分をお支払いいただくこととなります。詳細については、受診する医療機関へお問い合わせください。

4

## 精密検査の結果を受け取ります

精密検査の結果に応じて、医師の指示に従いましょう。

**異常がなかった場合は、必ず2年に1回\*定期的に胃がん検診を受診**しましょう。

\*胃部X線検査は、1年に1回の場合もあります。

## 区市町村への精密検査結果報告のお願い

区市町村では、精密検査の結果を把握することで、胃がん検診の質の向上に取り組んでいます。このため、精密検査の結果は、精密検査を実施した医療機関から区市町村や胃がん検診を受けた医療機関へ報告され、共有されます\*。

精密検査を受ける際には、「胃がん検診精密検査依頼書」と「返信用封筒」を精密検査を受ける医療機関に提出し、記載を依頼していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

医療機関から「依頼書の作成に費用がかかります」と言われる場合があります。書類作成をお断りされる場合は、お手数ですが表面「お問合せ先」までご連絡くださいますようお願いいたします。

\*国は、精密検査を実施した医療機関に、区市町村や胃がん検診を実施した医療機関への精密検査結果の情報提供を求めています。精密検査結果は、個人情報保護法の例外事項として、個人の同意がなくても区市町村や検診実施機関に対して提供することが可能です。

# がん検診の結果が「要精密検査」の方は必ず精密検査を受けましょう!

がん検診では、精密検査が必要かどうかを調べます。がん検診で精密検査が必要（要精密検査）と判定された場合、「がんの疑いがある」可能性があります。**より詳しい検査を行い、本当にがんがあるかを調べる必要があります。**精密検査では、がん以外の病気を見つけられることもあります。

肺がんは、がん死亡者の中で最も多いがんです。肺がんであっても、症状が出ないことはよくありますが、検診での発見で早期に治療をすれば、80%以上が助かります\*。また、一部の肺がんは、増殖が早く転移しやすいため、早期発見が重要です。

\*ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合です。  
出典：全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率（2009～2011年診断例）

喀痰細胞診は、肺門部のがんの発見を目的としています。喀痰細胞診で「要精密検査」となった場合は、再検査ではなく必ず精密検査を受けましょう。

## 検診の流れ

### 1. がん検診

- ・質問（問診）
- ・胸部X線検査
- ・喀痰細胞診\*

### 2. 精密検査

検診の結果、「要精密検査」と判定されたら、精密検査を受診

### 3. 「がん」か「がんではない」か判明

肺がん  
肺がん以外の病気  
  
異常なし

治療

年1回  
定期的ながん検診

## 主な精密検査の内容

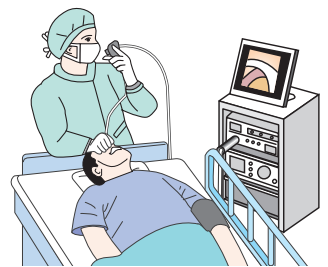
### CT検査

胸部エックス線検査で病変が疑われた部位の断面図を撮影し、肺にがんがないかを画像で確認します。



### 気管支鏡検査

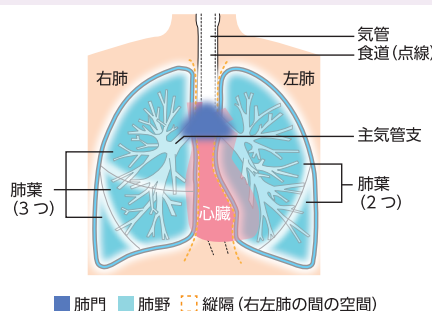
気管支鏡（直径 5mm ほどの細い内視鏡）を口や鼻から挿入し、気管支の中を観察します。病変が疑われる部分の細胞や組織を採取し、がんの有無について調べます。



\*50歳以上で、喫煙指数(1日の平均喫煙本数×喫煙年数)が600以上の人のみ実施。

## 肺がんとは

肺がんは、気管支や肺胞の細胞がなんらかの原因でがん化したものです。肺がんは喫煙との関連が大きく、喫煙を始めた年齢が若く、喫煙量が多いほどそのリスクが高くなります。ただし、喫煙が原因ではない肺がんもあり、非喫煙者も注意が必要です。



## お問合せ先



# 精密検査の受け方

1

## 精密検査を受ける医療機関を選びましょう

医療機関名	所在地	電話番号

上記の医療機関以外でも、肺がん検診の精密検査は**呼吸器内科・呼吸器外科のある医療機関**で受けることができます。ただし、すべての呼吸器内科・呼吸器外科のある医療機関で実施しているわけではありませんので、ご注意ください。

2

## 医療機関に精密検査の予約をしましょう

精密検査を受ける医療機関を選んだら、医療機関へ連絡して受診日を予約してください。

3

## 医療機関で精密検査を受けましょう

### 精密検査当日の持ち物

- ・健康保険証
- ・肺がん検診結果通知書
- ・胸部エックス線写真または画像データの入ったCD-ROM
- ・肺がん検診精密検査依頼書及び結果報告書
- ・返信用封筒

### 精密検査の費用

精密検査は通常の保険診療として、健康保険を適用した際の自己負担分をお支払いいただくこととなります。詳細については、受診する医療機関へお問い合わせください。

4

## 精密検査の結果を受け取ります

精密検査の結果に応じて、医師の指示に従いましょう。

**異常がなかった場合は、必ず年1回定期的に肺がん検診を受診しましょう。**

### 区市町村への精密検査結果報告のお願い

区市町村では、精密検査の結果を把握することで、肺がん検診の質の向上に取り組んでいます。このため、精密検査の結果は、精密検査を実施した医療機関から区市町村や肺がん検診を受けた医療機関へ報告され、共有されます\*。

精密検査を受ける際には、「肺がん検診精密検査依頼書」と「返信用封筒」を精密検査を受ける医療機関に提出し、記載を依頼していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

医療機関から「依頼書の作成に費用がかかります」と言われる場合があります。書類作成をお断りされる場合は、お手数ですが表面「お問合せ先」までご連絡くださいますようお願いいたします。

\*国は、精密検査を実施した医療機関に、区市町村や肺がん検診を実施した医療機関への精密検査結果の情報提供を求めています。精密検査結果は、個人情報保護法の例外事項として、個人の同意がなくても区市町村や検診実施機関に対して提供することが可能です。

# がん検診の結果が「要精密検査」の方は必ず精密検査を受けましょう!

がん検診では、精密検査が必要かどうかを調べます。がん検診で精密検査が必要（要精密検査）と判定された場合、「がんの疑いがある」可能性があります。**より詳しい検査を行い、本当にがんがあるかを調べる必要があります。**精密検査では、がん以外の病気を見つけられることもあります。

早期の大腸がんはほとんど自覚症状がありませんが、検診での発見で早期に治療をすれば、**90%以上が助かります\***。また、早期発見により、**身体的にも経済的にも負担の少ない治療**で済み、早めに日常生活に戻ることができます。

\*ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合です。  
出典：全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率（2009～2011年診断例）

痔の有無にかかわらず、便潜血検査陽性の場合には、大腸がんの可能性がります。また、**前回精密検査を受けて「異常なし」だった場合も**、再度便潜血検査で陽性だった場合は、ご自身で判断せず必ず精密検査を受けてください。

**便潜血検査の再検査は精密検査ではありません。**採取する便の場所によって血液量が異なるため、便潜血検査を再度受けて陰性であっても、大腸がんの可能性を否定できません。必ず以下の精密検査を受けてください。

## 検診の流れ

### 1. がん検診

- ・問診
- ・便潜血検査

### 2. 精密検査

検診の結果、「**要精密検査**」と判定されたら、精密検査を受診

### 3. 「がん」か「がんではない」か判明

大腸がん  
大腸がん以外の病気

▶ 治療

異常なし

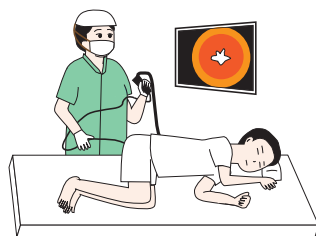
▶ 年1回  
定期的ながん検診

## 主な精密検査の内容\*

\*他の検査方法がとられることもあります。

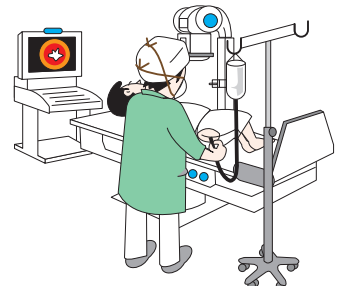
### ■ 全大腸内視鏡検査

精密検査として第一に推奨される方法です。内視鏡を肛門から挿入し、大腸の全部位を観察します。必要に応じて大腸粘膜の細胞を採取し、悪性かどうか診断します。



### ■ S状結腸内視鏡検査・注腸エックス線検査

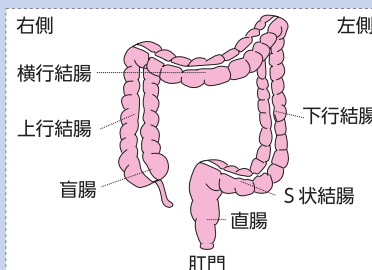
大腸全体を内視鏡で観察することが困難な場合は、直腸からS状結腸までを内視鏡で観察し、奥の大腸は肛門からチューブを挿入してバリウムを流し込み、エックス線で調べ、大腸の形の変化から病変を診断します。



## 大腸がんとは

大腸がんは、大腸（結腸・直腸・肛門）に発生します。

腺腫という良性のポリープががん化して発生するものと、正常な粘膜から直接発生するものがあります。



## お問合せ先

# 精密検査の受け方

1

## 精密検査を受ける医療機関を選びましょう

医療機関名	所在地	電話番号

上記の医療機関以外でも、大腸がん検診の精密検査は**消化器内科・内視鏡内科・胃腸内科のある医療機関**で受けることができます。ただし、すべての消化器内科・内視鏡内科・胃腸内科のある医療機関で実施しているわけではありませんので、ご注意ください。

2

## 医療機関に精密検査の予約をしましょう

精密検査を受ける医療機関を選んだら、医療機関へ連絡して受診日を予約してください。

3

## 医療機関で精密検査を受けましょう

### 精密検査当日の持ち物

- ・健康保険証
- ・大腸がん検診結果通知書
- ・大腸がん検診精密検査依頼書及び結果報告書
- ・返信用封筒

### 精密検査の費用

精密検査は通常の保険診療として、健康保険を適用した際の自己負担分をお支払いいただくこととなります。詳細については、受診する医療機関へお問い合わせください。

4

## 精密検査の結果を受け取ります

精密検査の結果に応じて、医師の指示に従いましょう。

**異常がなかった場合は、必ず年1回定期的で大腸がん検診を受診しましょう。**

### 区市町村への精密検査結果報告のお願い

区市町村では、精密検査の結果を把握することで、大腸がん検診の質の向上に取り組んでいます。このため、精密検査の結果は、精密検査を実施した医療機関から区市町村や大腸がん検診を受けた医療機関へ報告され、共有されます\*。

精密検査を受ける際には、「大腸がん検診精密検査依頼書」と「返信用封筒」を精密検査を受ける医療機関に提出し、記載を依頼していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

医療機関から「依頼書の作成に費用がかかります」と言われる場合があります。書類作成をお断りされる場合は、お手数ですが表面「お問合せ先」までご連絡くださいますようお願いいたします。

\*国は、精密検査を実施した医療機関に、区市町村や大腸がん検診を実施した医療機関への精密検査結果の情報提供を求めています。精密検査結果は、個人情報保護法の例外事項として、個人の同意がなくても区市町村や検診実施機関に対して提供することが可能です。



# がん検診の結果が「要精密検査」の方は必ず精密検査を受けましょう!

がん検診では、精密検査が必要かどうかを調べます。がん検診で精密検査が必要（要精密検査）と判定された場合、「がんの疑いがある」可能性があります。**より詳しい検査を行い、本当にがんがあるかを調べる必要があります。**精密検査では、がん以外の病気を見つけられることもあります。

※がん検診で細胞がとれていないなどうまくいかなかった場合は「要再検査」となります。検診機関に確認して再度検査を受けてください。

CIN（がんになる前の状態）や早期の子宮頸がんは**自覚症状がありません**。がんであっても早期のうちに治療すれば、**90%以上が助かります**＊。

＊ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち5年後に生存している人の割合です。  
出典：日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会報告 第61回治療年報

精密検査では、**がん以外にCIN（がんになる前の状態）が数多く診断されています**。CIN（がんになる前の状態）の場合、CIN1・2では精密検査を繰り返し、CIN3では治療を行います。CIN3での治療は、**より身体的に負担の少ない治療が可能**になります。

## 検診の流れ

### 1. がん検診

- ・問診
- ・視診
- ・内診
- ・細胞診

### 2. 精密検査

検診の結果、「**要精密検査**」と判定されたら、精密検査を受診

### 3. 「がん」か「がんではない」か判明

子宮頸がん	▶	治療
CIN3	▶	医師の指示に従い精密検査を繰り返す
CIN1・2	▶	2年に1回定期的ながん検診
異常なし	▶	

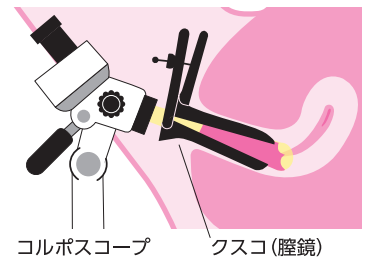
## 主な精密検査の内容＊

＊精密検査は以下の検査を組み合わせで行います。



### ■ コルポスコピー診及び組織診

コルポスコープを使って子宮頸部を詳しく見て、病気があると疑われる部分（組織）を一部採取して標本にし、顕微鏡で診断します。

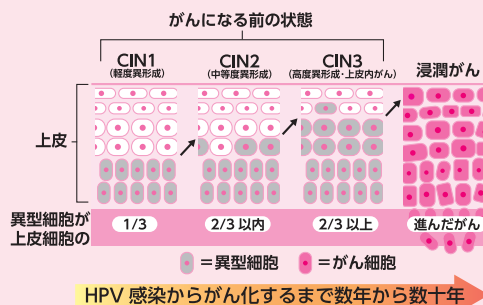


### ■ HPV検査

子宮頸部から細胞を採取し、HPV（ヒトパピローマウイルス）に感染しているかどうかを調べます。

## 子宮頸がんとは

子宮頸がんは、子宮の入り口（子宮頸部）近くにできるがんです。性交渉で感染するHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染が長期間継続すると、子宮頸部の細胞に異常が生じ、CIN（がんになる前の状態）を経て、数年から数十年かけて子宮頸がんになります。



## お問合せ先

# 精密検査の受け方

1

## 精密検査を受ける医療機関を選びましょう

医療機関名	所在地	電話番号

上記の医療機関以外でも、子宮頸がん検診の精密検査は**婦人科のある医療機関**で受けることができます。ただし、すべての婦人科のある医療機関で実施しているわけではありませんので、ご注意ください。

2

## 医療機関に精密検査の予約をしましょう

精密検査を受ける医療機関を選んだら、医療機関へ連絡して受診日を予約してください。

3

## 医療機関で精密検査を受けましょう

### 精密検査当日の持ち物

- ・健康保険証
- ・子宮頸がん検診結果通知書
- ・子宮頸部精密検査依頼書及び結果報告書
- ・返信用封筒

### 精密検査の費用

精密検査は通常の保険診療として、健康保険を適用した際の自己負担分をお支払いいただくこととなります。詳細については、受診する医療機関へお問い合わせください。

4

## 精密検査の結果を受け取ります

精密検査の結果に応じて、医師の指示に従って通院を続けてください。

その間、子宮頸がん検診は受診しないでください。

**異常がなかった場合は、必ず2年に1回定期的に子宮頸がん検診を受診**しましょう。

## 区市町村への精密検査結果報告のお願い

区市町村では、精密検査の結果を把握することで、子宮頸がん検診の質の向上に取り組んでいます。このため精密検査の結果は、精密検査を実施した医療機関から区市町村や子宮頸がん検診を受けた医療機関へ報告され、共有されます\*。

精密検査を受ける際には、「子宮頸部精密検査依頼書」と「返信用封筒」を精密検査を受ける医療機関に提出し、記載を依頼していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

医療機関から「依頼書の作成に費用がかかります」と言われる場合があります。書類作成をお断りされる場合は、お手数ですが表面「お問合せ先」までご連絡くださいますようお願いいたします。

\*国は、精密検査を実施した医療機関に、区市町村や子宮頸がん検診を実施した医療機関への精密検査結果の情報提供を求めています。精密検査結果は、個人情報保護法の例外事項として、個人の同意がなくても区市町村や検診実施機関に対して提供することが可能です。

# がん検診の結果が「要精密検査」の方は必ず精密検査を受けましょう!

がん検診では、精密検査が必要かどうかを調べます。がん検診で精密検査が必要（要精密検査）と判定された場合、「がんの疑いがある」可能性があります。**より詳しい検査を行い、本当にがんがあるかを調べる必要があります**。精密検査では、がん以外の病気を見つけられることもあります。

早期の乳がんはほとんど自覚症状がありませんが、検診での発見で早期に治療をすれば、**90%以上が助かります\***。また、早期発見により、**身体的にも経済的にも負担の少ない治療**で済み、早めに日常生活に戻ることができます。

\*ここでいう「助かる」とは、がんと診断された人のうち10年後に生存している人の割合です。  
出典：全国がんセンター協議会加盟施設における10年生存率（2003～2006年診断例）

## 検診の流れ

### 1. がん検診

- ・問診
- ・マンモグラフィ検査

### 2. 精密検査

検診の結果、「**要精密検査**」と判定されたら、精密検査を受診

### 3. 「がん」か「がんではない」か判明

乳がん  
乳がん以外の病気  
  
異常なし

治療

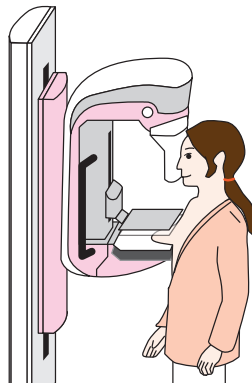
2年に1回  
定期的ながん検診

## 主な精密検査の内容\*

\*精密検査は以下の検査を組み合わせで行い、他の検査方法がとられることもあります。

### マンモグラフィの追加撮影

乳房の엑스線検査で、乳房内のしこりや石灰化(乳房の一部にカルシウムが沈着したもの)を画像で確認します。乳がん検診よりも多方向から撮影することで、超音波検査で発見しにくい微細な石灰化を見つけることができます。



### 超音波(エコー)検査

乳房に超音波を当て、超音波の反射の様子から乳房内のしこりを画像で確認します。乳腺の密度が濃く、マンモグラフィではしこりがわかりにくい場合でも、超音波検査ではしこりの診断をすることができます。



### 細胞診及び組織診

マンモグラフィの追加検査や超音波検査などの画像診断を行った上で、確定診断のために、乳房に針を刺して細胞を採取する穿刺吸引細胞診や、組織診(針生検)などを行うことがあります。

## お問合せ先

# 精密検査の受け方

## 1 精密検査を受ける医療機関を選びましょう

医療機関名	所在地	電話番号

上記の医療機関以外でも、乳がん検診の精密検査は乳腺外科・乳腺科のある医療機関で受けることができます。ただし、すべての乳腺外科・乳腺科のある医療機関で実施しているわけではありませんので、ご注意ください。

## 2 医療機関に精密検査の予約をしましょう

精密検査を受ける医療機関を選んだら、医療機関へ連絡して受診日を予約してください。

## 3 医療機関で精密検査を受けましょう

### ■ 精密検査当日の持ち物

- ・健康保険証
- ・乳がん検診結果通知書
- ・乳房エックス線写真または画像データの入ったCD-ROM
- ・乳がん検診精密検査依頼書及び結果報告書
- ・返信用封筒

### ■ 精密検査の費用

精密検査は通常の保険診療として、健康保険を適用した際の自己負担分をお支払いいただくこととなります。詳細については、受診する医療機関へお問い合わせください。

## 4 精密検査の結果を受け取ります

精密検査の結果に応じて、医師の指示に従いましょう。

**異常がなかった場合は、必ず2年に1回定期的に乳がん検診を受診**しましょう。

### 区市町村への精密検査結果報告のお願い

区市町村では、精密検査の結果を把握することで、乳がん検診の質の向上に取り組んでいます。このため、精密検査の結果は、精密検査を実施した医療機関から区市町村や乳がん検診を受けた医療機関へ報告され、共有されます\*。

精密検査を受ける際には、「乳がん検診精密検査依頼書」と「返信用封筒」を精密検査を受ける医療機関に提出し、記載を依頼していただきますよう、ご協力をお願いいたします。

医療機関から「依頼書の作成に費用がかかります」と言われる場合があります。書類作成をお断りされる場合は、お手数ですが表面「お問合せ先」までご連絡くださいますようお願いいたします。

\*国は、精密検査を実施した医療機関に、区市町村や乳がん検診を実施した医療機関への精密検査結果の情報提供を求めています。精密検査結果は、個人情報保護法の例外事項として、個人の同意がなくても区市町村や検診実施機関に対して提供することが可能です。